

2019年度 インドネシア バンドン工科大学 AOTULE サマープログラム 募集要項

【募集概要】

本プログラムでは、AOTULE (Asia-Oceania Top University League on Engineering) 加盟校のひとつ、インドネシアのバンドン工科大学での講義、アジア・オセアニア地域の学生との交流、現地の文化学習、研究機関・インフラ施設訪問、英語でのプレゼンテーション等が予定されています。

【派遣先】 インドネシア バンドン

【渡航期間】 2019年7月31日(水)～8月18日(日) (19日間)

※航空便の関係で出発/帰着日が前後する場合があります。

【費用】 未定(約19～20万円前後(航空券代、燃料サーチャージ、空港税等を含む))

*本プログラムの授業料は発生しません。

*バンドン工科大学より期間中の宿舍と食事が提供される予定です。

*フライトは大学が手配するチケットの利用となり、各自で旅行代理店に支払ってください。

*大学の指定する海外旅行保険&危機管理サービスに加入してください。

【応募資格】

1. 工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院所属の正規課程学生。国籍・性別・学年は不問(学士課程、修士課程、博士課程の学生)。
2. 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。

【奨学金】 工系学生国際交流基金より7万円が支給される場合があります。

【選考方法】 書類審査及び面接

【募集人数】 3～4名程度

【プログラム】

[ITB AOTULE Summer Program Outline 2019](#)

【必要書類】 1. 「応募用紙」

以下よりダウンロードしてください。

[ITB AOTULE Application Form 2019](#)

2. 「成績証明書」

※教務 web システム成績閲覧画面のコピー可

※前年度の成績が必ず含まれており、前年度の履修科目にマークをつけること

※前年度、他大学に在籍していた場合は、時間に余裕をもって取り寄せておくこと

【提出先】 工系国際連携室(本館2階249号室)へ直接持参または学内便(POST:H-106)で提出してください。

バンドン工科大学へ直接応募することはできません。

【応募締切】 2019年5月10日(金) 正午必着

*応募に際しては、アカデミックアドバイザー、系主任、学科長等の署名を必ず得てください。

*研究室所属の方は、指導教員の署名も必要です。

【面接予定日】 2019年5月15日(水) 12:00-13:30

大岡山キャンパス・南3号館2F 203号室 電気情報系第2会議室

【公募結果通知予定日】 面接後、速やかにお知らせします。

【事前・事後学習】

本プログラム参加者は、単位付与の一環として、下記の事前・事後学習への参加が義務付けられます。
※スケジュールは変更になる可能性があります。

2019年6月中	海外安全オリエンテーション（時間・場所：未定）
6月19日（水）15:05-16:35	プログラムオリエンテーション&事前学習1（場所：未定）
7月24日（水）13:20-14:50	事前学習2（場所：未定）
10月頃	留学報告会（時間・場所：未定）

【単位付与】

1. 学士課程の1年生および2年生の参加については、「グローバル理工人研修入門1A」の単位が付与される。
2. 学士課程の3年生および下記の条件を満たす4年生の参加については、「グローバル理工人研修1A」の単位が付与される。
 - 1) 当該海外派遣プログラムにより得られる単位の有無が、卒業に影響を及ぼさない。
 - 2) 卒業あるいは大学院進学に関する必要な手続きに影響を及ぼさない。
3. 上記にかかわらず、「グローバル理工人研修」等の科目ではなく、所属の科目による単位付与が行われる場合がある。
4. 修士課程ならびに博士課程の参加については、「国際研究研修2A」の単位が付与される。
5. 帰国後、本学において単位付与出来ない場合には、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。

【奨学金支給基準】

1. 前年度の成績評価係数が2.30以上であること。

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第3位を四捨五入）

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

（計算式）

$$\left(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3 \right) + \left(\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2 \right) + \left(\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1 \right) + \left(\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0 \right) \div \text{総登録単位数}$$

2. 前年度の成績評価係数が2.0以上～2.3未満の場合、自己推薦書(書式自由)を提出することで、支給が認められる場合がある。
3. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えないこと。

【プログラムの問合せ先】

工系国際連携室 本館2階249号室
e-mail: ko.int1@jim.titech.ac.jp
電話：03-5734-3859（担当：栗山）